

ふじやまだより

第31号

発行 2005年
7月15日

本郷
ふじやま公園
運営委員会

本郷台駅前に幽玄の世界

ーキャンドルナイトinさかえー

6月18日(日) 18:30~21:00に、本郷台駅前広場で栄区役所主催の「キャンドルナイトinさかえ」が、街灯の一部を消して竹灯籠やキャンドルの薄明かりの中で音楽を聴きながら催された。



年に一度、会う喜び

ふじやま公園の七夕飾り

出演はヒ
ダノ修一
スーパーセッ
ション(太
鼓:ヒダノ修
一、ハーモニ
カ:八木のぶ
お、ベース:
鳴瀬喜博)

、本郷中学校吹奏楽部、古川松江(パ
ントマイム)、鎌倉女子大学スチール
ドラムアンサンブル大和田広美(ピア
ノ弾き語り)、森内直美(詩の朗読)。

1000部用意したプログラムが
全部なくなり、電車が着く度に改札口
から出てくる人たちが新たに加わり、
延べ2000人を超す盛況だった。

ロウソクの淡い光に照らし出され
幽玄な世界だった。

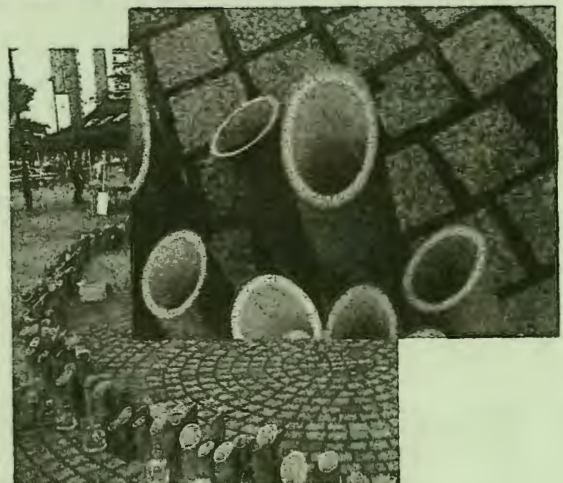


♪ふじやま公園のボランティアも

竹灯籠作りで活躍♪

この日使われた竹灯籠は区役所が募集した市民ボ
ランティアと本郷ふじやま公園のボランティアが一
緒になって一日がかりで汗を流して作ったもの。

イベントの最後に、「使用した竹灯籠をお土産と
してお持ち帰りいただきます」と放送されると長い
行列ができて、用意した竹灯籠400個がまたたく
間に無くなった。



身近なところに歴史発見！

アンコール第三回栄区歴史双六探訪！！

古民家歴史部会 小澤静子

ふじやま公園—富士講碑—小坪道—相武国境碑—七曲開拓碑—七曲旧道—鍛冶ヶ谷古道—
宮ノ前横穴墓—柳下家—道祖供養碑道標・北の大道

今回は、1月に実施された第三回が小雨のために参加者が少なかったにもかかわらず評判が良かったので、アンコール版です。鍛冶ヶ谷の古道と横穴墓に重点を置きました。



当日は(6月13日[月])は良い天気恵まれ、28人の参加者は元気いっぱい。同じ古民家歴史部会の柳下さんの案内によりふじやま公園を10時に出発しました。

まずは第三回と同じように公園内にある富士講碑(写真左)がスタートです。これは小高い所を富士山に見立ててお参りしていたものです。

そして小坪道から子の神・日枝神社、かつての相武国境碑を経て七曲がり開拓碑に至りました。

昔、人々は中野村の道を通して日野方面に行っていましたが雨が降るとぬかるんで困っていました。明治になって新道を作ることになり地元の有力者たちも土地やお金や労力を出し合って道を作ったそうです。

その後も天神橋まで道を整備し、このおかげで農家の産物を弘明寺のあたりまで売りに行くことができるようになったということです。

鍛冶ヶ谷の名主であった柳下家の急斜面の裏山に宮ノ前横穴墓(写真下)が25基ありました。奥に納骨のための部屋があり、この特色は鍛冶ヶ谷式と呼ばれています。



吹く風もふるさとの香の椎の花
ふりかへるときひとしきり竹落葉
梅雨明をよろこぶ蝶の後をゆく

西島麦南
西山 誠
杉山 丘陽



つれづれのうた

* 8世紀頃に造
* られたと思われ
* ますが どんな
* 人々が造ったか
* いまだ良くわか
* っていないそう
* です。

*
* 柳下家のそばの道祖供養碑道標のところで2時30分に解
* 散になりました。

* 柳下さんご説明ありがとうございました。

*
*
*
*
*
*



古民家Q/A

本郷ふじやま公園古民家を見学された方々から色々な質問を受けて、改めて調べたり種々ご教示をいただいたりしました。
そこで古民家見学の参考になればとこれらの一部をシリーズでご紹介します。

その1 草葺屋根の話

屋根は雨露を防ぐ役割のほかに、屋根が家屋建物の第一印象を決めると云われるように形・姿も重要です。



瓦葺が出るまでは日本の屋根は草葺が一般的でした。この場合の「草」は草本系植物の総称でありイネ科やカヤツリグサ科の茅(植物名はススキ)、チガヤ、オギ、スゲ、稲藁、小麦藁であり、水辺に生える葦(ヨシとも呼ぶ)も用いられました。これらの中で茅が多用されたので、茅葺きが草葺屋根の代表となってきました。

茅や葦は油分が多く耐久性が高く茅葺は日向で三十年、日陰で二十五年前後と言われます。稲藁は水分を吸収するので耐久性は茅の十分の一です。

●主屋の茅は御殿場で刈られたヤマカヤで約四千束(一束は両手で抱える量)を使用しました。茅の長さは1.5~1.8mのものを使用し、雨に濡れるのは外から10cm程度です。雨、カビ、鳥、虫などで劣化するとその部分を引出し新しい茅を交換・詰込みます。屋根の勾配は45度前後であり、緩くなると水切れが十分でなくなり雨漏りを生じます。草葺屋根は吸音性があり外部の音を遮断するという特徴がありますが、火に弱いという欠点があり、現在では建築基準法により、草葺屋根は一般には認められません。

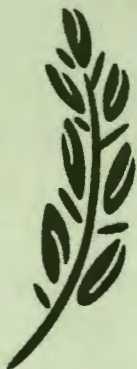
第6回

作って遊ぼう



麦わらで作った虫かご

●第6回
ち15名
虫かご
ものです。
年5月に
10日
にしたも



「子ども工作の日」が6月19日(日)に実施されました。子どもたちの参加で賑やかに楽しいひと時でした。

に使用した麦わらは昨年10月末、ふじやま公園の畑で種まきされた種は四条小麦で農芸部会の人たちの手で育てられて、今刈り取りをしました。

間ほど乾燥させてから袴をはずして一節(20センチ位)のを、さらに一晩水につけ柔らかくして使用します。



参加した子どもたちに麦わらが出来るまでの説明をしながら作業を進めると、付き添いのお母さんが、「種を蒔くところから育てた麦わらですか・・・」と感動されていました。また4、5年生の子どもたちは、「麦畑も見なかった」と関心を示していました。

子どもたちに講師が「丁寧に作って、出来たら大事にしてね」と話しかけると、夢中になって虫かごを編んでいた女の子は、「これには虫を入れないで、鉛筆入れにしようかな」とか「何を入れようか!」と考えている男の子など楽しそうでした。

虫かごとして作ったものでも、子どもたち一人ひとりの使い方はそれぞれで、夢が広がっていく楽しさを知った様子でした。

教室案内と仲間募集

奮ってご参加ください お待ちしております

楽しい教室のお知らせ

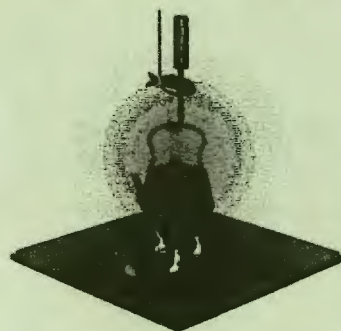
教室名	日時	内容	定員	参加費	応募期限
作って遊ぼう～子ども工作の日～	8月21日(日) 10時～12時 13時～15時	粘土でふじやま公園の動物を作ろう	小学生以上 12名	無料	申し込み不要 受付: 10時～11時 13時～14時
布ぞうり体験教室	9月4日(日) 10時～15時	持参品:昼食	12名	300円 (1足分)	8月20日(土) 必着
粘土工芸 おつかいら ビット(女の子)全3回	9月9日(金) 9月16日(金) 10月7日(金) 3日とも 10時～12時 13時～16時	うさぎさんのレリーフで、バスケットにはドライフラワーやハーブを入れます 持参品:エプロン、木工用ボンド、ものさし、手拭	午前、午後、各 12名	2000円	8月31日(水) 必着 往復はがきには、下記の応募要領の他に、午前か午後の希望も付記

(1)持参品:返信ハガキで連絡します。

(2)定員:応募者多数のときは抽選

(3)応募要領:往復ハガキに、教室名、氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号を書いて応募期限までに本郷ふじやま公園へ

この指と～まれ!



①いろいろの火守募集

人は火を見るとおしゃべりになる。いろいろを囲んで仲間同志語らいましょう。

詳しくはふじやま公園事務所へお問い合わせください。



古民家ゾーンご利用案内

◆本郷ふじやま公園運営委員会 〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20

TEL:896-0590 FAX:896-0593

- ・開館時間: 9:00～17:00
- ・入館料: 無料
- ・休館日: 8月3日(水)
- ・クリーンアップ作業: 8月2日(火)、16日(火) 10時～11時

お願い:「ふじやまだより」に対するご意見やご感想を電話、FAXでお気軽にどうぞ。広報部会長

◆環境創造局南部公園緑地事務所 TEL:831-8484 FAX:831-9389